

「楽しい二胡講座～二胡に挑戦！～」を開催しました

平成22年5月22日から7月24日までの期間、5回にわたって二胡インストラクターの連 仲友さんれん ちゆうゆうを講師にお迎えしました。

二胡とは、中国の伝統的な擦弦楽器さつげんがっきの一種で2本の弦を間に挟んだ弓で弾きます。

二胡に触れるのも初めてという受講生が多く、まずは二胡を弾くときの姿勢と二胡の持ち方の基本をしっかりと学びました。



リラックスした正しい姿勢で弾くのが基本ですが、最初はどうしても力が入ってしまいます。そんなときは、「はははは、ひひひひ、ふふふふ」と笑いましょう。すると自然と余計な力が抜けます。

弓を弾くときは、水平に・一直線で・均一的に“平・直・均”。

通常は開放弦かいほうげん（左手で何も押さない状態）を弾く練習を2～3ヶ月するそうですが、今回の講座は5回しかないため、「キラキラ星」「夕焼け小焼け」「浜千鳥」「蛍の光」等の曲も練習しました。



毎回講座終了後には、連さんのすばらしい演奏を披露していただき、受講生の皆さんはその音色の美しさにうっとりしていました。

1つの曲を完璧に弾くには、その曲を2,000回練習するのが目安だそうです。連さんのように弾けるようになるまでには、気の遠くなるような歳月がかかりそうですが、二胡という楽器に実際に触れることができ、その魅力を知る良いきっかけにはなったのではないのでしょうか。